ShinDengen

東京マラソン２０２０

【大会概要】

開催日 ： ３月１日（日）９：１０スタート

種 目 ： フルマラソン（42.195km）

コース ： 東京都庁～飯田橋～神田～日本橋～浅草雷門～両国～門前仲町～銀座～ 高輪～
日比谷～東京駅前・行幸通り（日本陸連・IAAF／AIMS 公認コース）

出場者 ： 石原 洸（ES管理部・管理課）

リザルト（ＬＡＰ） ：

Lap	石原
5km	15’ 46”
10km	31’ 58”
15km	48’ 33”
20km	1° 04’ 56”
25km	1° 21’ 30”
30km	1° 38’ 02”
35km	1° 54’ 32”
40km	2° 11’ 20”
ゴール	2° 18’ 31” 自己新
総合順位	80 位
目標タイム	2 時間 20 分切

レポート：

東京オリンピックのマラソン日本代表最後の一枠を争う東京マラソンは、新型コロナウィルス感染拡大防止のため、約130名のエリートランナーのみで開催されました。

エリート選手枠の条件をクリアして出場資格を得ていた石原は、２週間前に体調を崩した関係で直前まで体調を見極めながらの出場判断となりましたが、最終的には自らの意思で出場を決め、出場するからには最低でも2時間20分切を目標設定し、スタートしました。

昨年のような冷たい雨のコンディションとは異なり、春の陽気を感じさせる暖かな中でレースが始まり、各選手とも終盤に気温が上昇していく中で、どれだけ伸びのある走りが出来るかがポイントとなりました。

ShinDengen

石原は自身が設定した2時間20分切を目指し、序盤から3'10"/kmあたりの落ち着いたﾍﾟｰｽでﾘｽﾞﾑを刻むと、中盤以降は同じﾍﾟｰｽを刻む集団の中で先頭を引っ張る形となったものの、自身のﾍﾟｰｽを守り、30㎞以降に気温が上昇してくる中でも大きくﾍﾟｰｽを落とすことなく、見事に目標を大きくｸﾘｱする2時間18分31秒の自己ﾍﾞｽﾄ記録でｺﾞｰﾙしました。

本大会では日本記録を更新した大迫選手の他、多くの日本人選手が積極的なﾚｰｽを披露して好記録が連発する中、石原も乗り遅れることなく、ｺﾝﾃﾞｨｼｮﾝが整わない状況でも結果を残せたことは価値があり、称賛に価するものと高く評価出来るﾚｰｽでした。

皆様のご声援、誠に有難う御座いました。

引続きまして、ﾁｰﾑに対する皆様の温かいご声援を宜しくお願い致します。

以　上